

出張医学教育FD(県立こども病院)

【日時】 平成24年10月31日18時

【場所】 県立こども病院

【参加人数】 13名

【内容】



○卒前クリニカルクラークシップの現状

・CBT/OSCE等についての説明

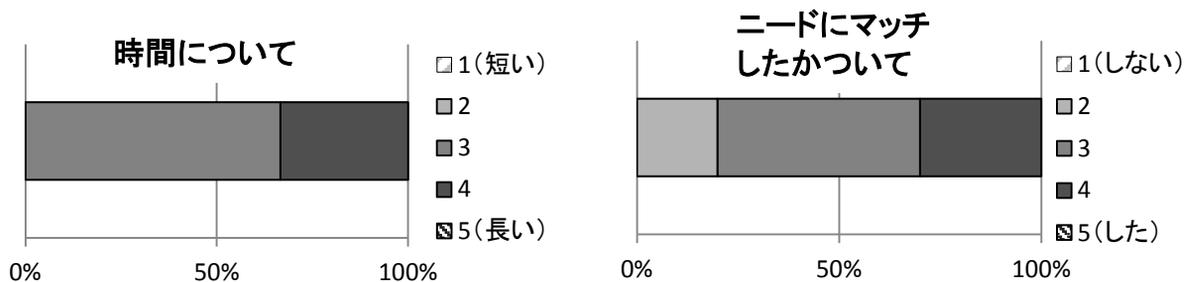
○信州大学におけるクラークシップ

・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について 等

○クラークシップの方法、評価法

・Mini CEXIについて 等

○DVD映像で見る参加型臨床実習



【参加者の意見】

- 最近の臨床実習がどのように行われるのかがわかった。
- 診療参加型の学生がよりモチベーションを持ってくることがわかった。
- 学生のクリクラの内容が変わってきているらしいということは知っていたが、
- 具体的なことがわからなかったので今回はそれを知ることができた。
- 医学教育が自分のころと大きく変わっていた。指導には熱意と時間が必要と感じた。
- 自分たちが勉強する必要がある。
- 屋根瓦型のシステムがきちんと出来上がるまではとても大変であることがわかった。
- 例えば診療参加型にすると、具合が悪い患者がいるのであれば泊り込んで一緒に診療するだけの意識で勉強に来るか。それとも時間が来たら終了のつもりで来るのか。
- 医学部教員は今後大丈夫かな
- こども病院の入院患者さんが学生の臨床実習のニーズに合うのかどうかは少し疑問
- 各科から個別に実習の依頼をされるのは困る。